

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名 舗装補修マネジメント事業		シート番号			D 建設・整備事業
担当部署名 建設 局 土木 部 土木監理 課		評価責任者(課長名)			林

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	7	地域防災力の向上と災害に強いまちづくりの推進	有
	2	事業開始年度	平成 23 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	道路法			
	4	関連計画	堺市公共施設等総合管理計画			
5	事業実施の経緯	道路の舗装については、今後急速に老朽化が進むことが予想され、集中的な維持管理費の増大が懸念されるため、舗装の長寿命化と補修予算の平準化が求められている。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input checked="" type="checkbox"/> 出先機関 (各地域整備事務所) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()		
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市民及び道路利用者		
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	既設道路の舗装は、今後急速に老朽化が進むことが予想され、維持管理費の増大が懸念されることから、これまでの緊急性の高い箇所から補修していく方法に加え、予防保全による計画的な舗装補修を行うことで、舗装の長寿命化や、補修費用の縮減、平準化等を図るとともに、舗装を健全な状態に保つ。		
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	市内の幹線道路等(約323km)について、道路舗装面のひび割れ等の定期的な調査(路面性状調査)を行い、損傷が進行する前に計画的に補修する予防保全の概念を取り入れた維持管理を進めることで、舗装を健全な状態に保つ。 ・ひび割れ等の定期的な調査時期:平成27年度(5年に1度調査を実施(前回は平成22年度に調査)) ・補修箇所:交通量の多い緊急交通路や幹線道路を中心に、4km/年の舗装補修を実施		
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 委託業務、工事発注の受注者			

Ⅲ. 投入量

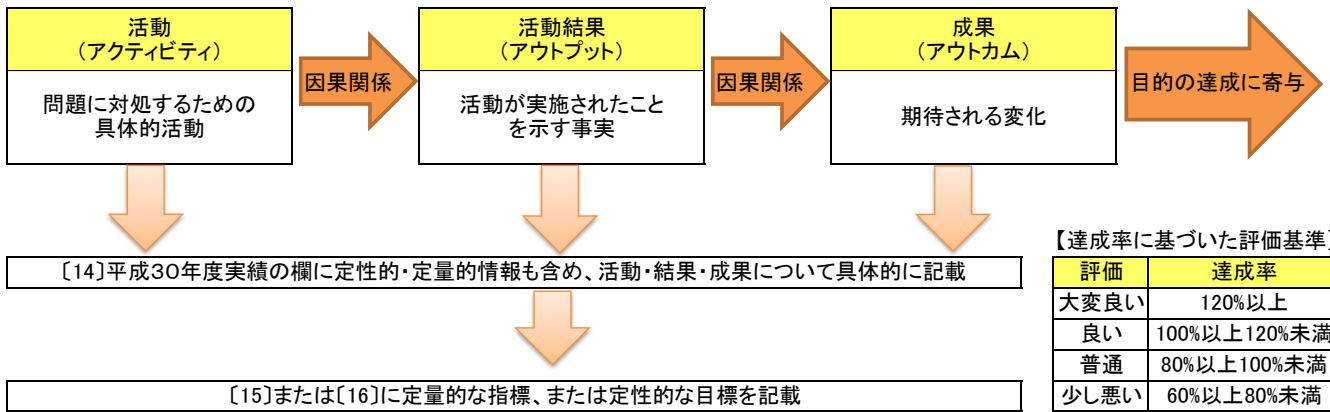
項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
11 事業費 (a)	千円	275,026	736,020	611,943	907,031	
主な事業費内訳	計画策定等委託料	千円	11,685	31,500	26,965	56,800
	舗装補修工事	千円	263,341	704,520	584,976	850,231
		千円				
		千円				
		千円				
財源内訳	国・府支出金	千円	36,860	138,432	54,519	90,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
	市債	千円	206,300	527,300	483,300	726,100
	その他(基金)	千円				60,000
	一般財源	千円	31,866	70,288	74,124	30,931
12 人件費 (b)	千円	83,640	83,640	83,640	82,620	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	358,666	819,660	695,583	989,651	

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	舗装補修マネジメント事業	シート番号	19-02
--------------	--------------	--------------	-------

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	市内の幹線道路等(323km)のうち、MCI(舗装の健全度合いを示す指標)が5を下回る状態である路線を中心に、約7kmの舗装補修工事を実施した。目標値である年4kmを上回る進捗を図ることができ、健全な舗装の割合の達成率も目標値を上回っている。						
	15	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		予防保全型の維持管理を実施するため、年間4kmの舗装補修を実施	km	目標値	4	4	4	4
				実績値	5	9	7	
				達成率	125%	225%	175%	
	評価	大変良い		大変良い	大変良い			
	算出方法・設定根拠など		目標値である年4km舗装補修に対して、実施工延長により算出					
	16	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
		市内の幹線道路等(323km)のうち、健全な舗装の割合	%	目標値	81	83	84	85
				実績値	82	85	87	
達成率				101%	102%	104%		
評価	良い			良い	良い			
算出方法・設定根拠など		健全な舗装とは、MCI(舗装の健全度合いを示す指標)が5を上回る状態であること						

業績の分析

17	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> <p>国による補正予算や新設された公共施設等適正管理推進事業債を活用し、舗装整備延長の進捗を図ることができたため、目標値を達成できている</p>
----	---

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。